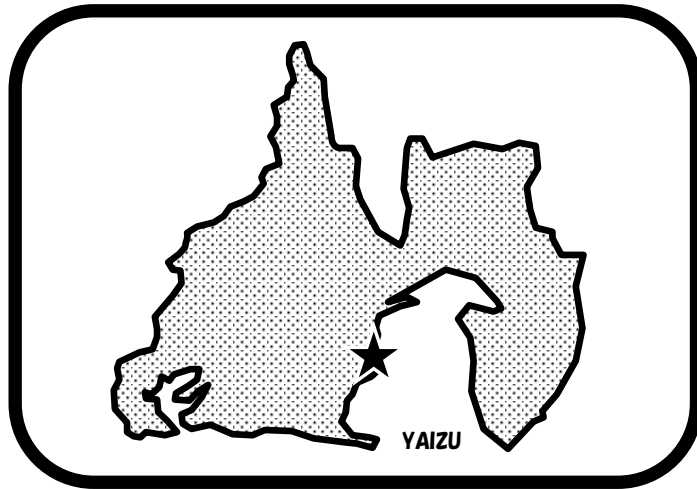


市のあゆみ



明治22年	4月	焼津村誕生
34年	6月	町制施行
昭和26年	3月	市制施行
28年	11月	焼津市・豊田村が合併
29年	3月	第五福竜丸がビキニ海域で水爆被災 藤枝町大覚寺を編入
30年	1月	焼津市と4町村（小川、大富、和田、東益津）合併
32年	4月	志太郡広幡村越後島を編入
35年	12月	焼津港の年間水揚げ100億円突破
36年	6月	平和都市宣言
44年	11月	市役所新庁舎へ 機構改革実施、部制施行
51年	5月	ユリカモメが市の鳥に決まる
52年	2月	ホバート市と姉妹都市提携 焼津市総合計画を市議会で議決
	5月	十万都市となる（県下7番目）
53年	10月	スポーツ都市宣言
54年	6月	同報無線局「広報やいづ」開局
55年	4月	市行政機構改革
58年	3月	海のシンボル『海の顕彰碑』完成
59年	3月	印鑑証明書をコンピューターで発行（県下初）
60年	3月	焼津市第2次総合計画決まる
	6月	第1回第五福竜丸6.30市民集会を開催 『焼津文化センター』オープン
	10月	『焼津さかなセンター』オープン
61年	5月	焼津市人口11万人になる（県下8番目）
平成元年	2月	大崩海岸で国道150号線崩落
	4月	小川漁港魚市場荷捌場完成
2年	3月	看護専門学校新築工事完成
	4月	静岡県中部看護専門学校開校
	7月	焼津・グアム友好協会設立
	11月	市街地再開発ビル『アトレ焼津』完成
3年	3月	『栃山川自然生態観察公園』完成
	7月	総合体育館『シーガルドーム』完成
4年	10月	公文書公開制度スタート
7年	4月	西焼津高架橋完成
	10月	臨時市議会で「平和都市焼津宣言」を議決
8年	2月	焼津駅道原線が開通
	9月	浜当日海岸に安全情報伝達施設が稼働
	10月	住民票、印鑑証明など自動交付スタート
9年	4月	岐阜県土岐市・滋賀県草津市と災害時の応援協定締結
	6月	子育てホームヘルパー派遣事業スタート
	7月	『ディスカバリーパーク焼津』オープン 広域都市づくりを推進する「志太地域広域都市連絡協議会」発足
	8月	小泉八雲来焼百周年記念事業
10年	2月	男女共同参画行動計画「やいづ未来創造プラン」策定
	3月	東名日本坂新トンネル（下り線）開通
	10月	東名高速道路日本坂トンネルの上り四車線、下り三車線化が完了
11年	4月	『消防防災センター』オープン
	12月	自主運行バスの運行開始
12年	3月	焼津市ホームページ開設
	9月	焼津の歌「焼津ラブソディー」が完成
	10月	焼津の踊り「みなと群舞」が完成
	12月	地域イントラネット稼働
13年	3月	市制50周年記念式典
	4月	鰯ヶ島八楠線が全線開通
	9月	駿河湾深層水の取水供給施設が完成
	10月	第21回全国豊かな海づくり大会を開催
14年	6月	資源ごみミニステーションを環境管理センター内に設置
	7月	志太二市二町任意合併協議会設立 『ディスカバリーパーク焼津』の有料入場者100万人を突破
	11月	駿河湾深層水本格給水開始（有料）
15年	5月	駿河湾深層水脱塩施設が完成、供用開始 総合福祉会館『ウェルシップやいづ』オープン

平成15年	10月	J R焼津駅南口広場完成式、駅前広場に足湯がオープン 第58回国民体育大会「NEW!!わかふじ国体」を開催
16年	4月	『深層水ミュージアム』オープン
	10月	市の人口が12万人を超える
	12月	第11回志太合併協議会で焼津市長が脱退の意向を表明
17年	1月	戸籍事務コンピューター化開始
	3月	焼津型鯉節製造技術が市無形文化財指定
18年	3月	防犯システム完備の塩津地下道が完成
	4月	消防防災局OB災害救助隊発足
	7月	タラソテラピー施設『アクアスやいづ』オープン
	10月	ねりんピック静岡2006太極拳交流大会を開催
19年	4月	産物販売提供施設『うみえーる焼津』オープン
	6月	『焼津小泉八雲記念館』オープン
	9月	新水道庁舎が弥宜島に完成し、移転
20年	2月	市総合福祉会館『ウェルシップやいづ』の利用者が50万人達成
	3月	焼津市勤労会館『サンライフ焼津』リニューアルオープン
	5月	『ディスカバリーパーク焼津』の有料入場者が200万人達成
	11月	大井川町と合併、新「焼津市」誕生
21年	2月	焼津市合併記念式典
	8月	震度6弱の地震が市内を襲う
	9月	市立大井川保育園が開園
	10月	第24回国民文化祭・しずおか2009を開催 「焼津平和賞」創設
22年	6月	第1回焼津平和賞授賞式を開催（公益財団法人第五福竜丸平和協会受賞）
	10月	第1回志太二市広域消防推進協議会を開催
23年	2月	『歴史民俗資料館』リニューアルオープン
	8月	市長と議長がマーシャル諸島共和国ビキニ環礁自治体を初訪問
	12月	『親子ふれあい広場』リニューアルオープン 『ふれあいギャラリー』オープン
24年	1月	『市役所アトレ庁舎』オープン
	3月	小・中学校施設の耐震化工事が終了
	6月	総合福祉会館『ウェルシップやいづ』の利用者が100万人達成
	10月	市で初となる津波避難タワーが飯淵地区に完成
	12月	「2012YAIZU ILLUMINATION～光で創る焼津の幸せ水族館～」を実施
25年	3月	焼津市消防本部と藤枝市消防本部が統合し志太消防本部発足
	4月	副市長が2人体制となる
	8月	『焼津小泉八雲記念館』の入館者が10万人達成
	9月	『井伊直孝産湯の井』が市文化財指定 『ディスカバリーパーク焼津』の有料入場者が300万人達成
	10月	台風26号の影響で大崩海岸の県道静岡焼津線が沈下
	11月	「やいちゃん」が焼津市のマスコットキャラクターになる
26年	1月	ラウンドアバウト社会実験開始（9月から本格運用）
	9月	花沢地区が「重要伝統的建造物群保存地区」に選定
	11月	大井川港開港50周年記念式典
27年	3月	大井川港に津波救命艇を配備 和田幼稚園が開園
	6月	焼津文化センター30周年
	7月	市役所旧議会庁舎及び別館の解体を開始
	8月	モンゴル国の東京五輪事前キャンプ地が焼津市に決定
28年	3月	新庁舎建設基本構想決定 大井川焼津藤枝スマートインターチェンジ開通
	10月	焼津市消防団が第25回全国消防操法大会で準優勝
29年	1月	マイナンバーカードを利用した証明書のコンビニ交付開始
	3月	浜当目トンネルが開通
	6月	焼津駅舎内にインフォメーションセンターがオープン
	12月	総合体育館『シーガルドーム』リニューアルオープン
30年	2月	大井川児童センター『とまとびあ』リニューアルオープン 『藤守の田遊び伝承館』オープン
	4月	和田地域交流センター『わかしお』オープン
	5月	大井川港漁協直営食堂『さくら』オープン
	7月	国道150号バイパス(三和交差点～惣右衛門西交差点)4車線化供用開始
	11月	焼津市・大井川町合併10周年
	12月	焼津市・大井川町合併10周年記念式典開催



平成31年	2月	やいちゃんの子育てAIサポートスタート 国道150号バイパス(惣右衛門西交差点～藤守川)4車線化供用開始
	3月	『ディスカバリーパーク焼津』の有料入場者が400万人達成
	4月	焼津漁港が3年連続で水揚げ金額全国1位となる 平成30年度の人口動態が8年ぶりに社会増
令和元年	5月	新元号「令和」初日に臨時窓口を設置
	7月	焼津市役所新庁舎の建設工事が開始
	9月	志太広域事務組合新葬祭式場「星山の苑」オープン
	10月	モンゴル国の東京五輪事前キャンプ最終合意書締結

焼津市歴代三役

―市制施行後―

市長

清水兵一郎	自昭和 26年 3月 1日	～ 至昭和 27年 5月 29日	(1年3か月)
高富義一	自昭和 27年 7月 7日	～ 至昭和 29年 12月 26日	(2年6か月)
斎藤重五郎	自昭和 30年 2月 1日	～ 至昭和 35年 2月 21日	(1期1年1か月)
大石虎之助	自昭和 35年 3月 17日	～ 至昭和 38年 12月 28日	(3年9か月)
長谷川正孝	自昭和 39年 2月 14日	～ 至昭和 50年 7月 10日	(2期3年5か月)
服部毅一	自昭和 50年 8月 28日	～ 至平成 3年 8月 27日	(4 期)
長谷川孝之	自平成 3年 8月 28日	～ 至平成 12年 11月 22日	(2期1年3か月)
戸本隆雄	自平成 12年 12月 24日	～ 至平成 20年 12月 23日	(2 期)
清水泰	自平成 20年 12月 24日	～ 至平成 24年 12月 23日	(1 期)
中野弘道	自平成 24年 12月 24日	～ 至現在	

助役

石野治録	自昭和 26年 7月 1日	～ 至昭和 27年 10月 31日	(1年4か月)
宮崎作次	自昭和 27年 8月 21日	～ 至昭和 30年 1月 10日	(2年5か月)
中野三郎	自昭和 30年 4月 20日	～ 至昭和 34年 12月 25日	(1期8か月)
松永一雄	自昭和 35年 8月 1日	～ 至昭和 51年 7月 31日	(4 期)
萩原始	自昭和 52年 5月 1日	～ 至平成 3年 8月 27日	(3期2年4か月)
楡井隆	自平成 3年 10月 15日	～ 至平成 7年 10月 14日	(1 期)
大畑弘	自平成 7年 10月 15日	～ 至平成 13年 3月 31日	(1期1年6か月)
米津尚	自平成 13年 4月 1日	～ 至平成 16年 3月 31日	(3 年)
福島数男	自平成 16年 4月 1日	～ 至平成 19年 3月 31日	(3 年)

副市長

福島数男	自平成 19年 4月 1日	～ 至平成 20年 3月 31日	(1 年)
山田寧	自平成 20年 4月 1日	～ 至平成 24年 12月 23日	(1期8か月)
高木利夫	自平成 25年 4月 1日	～ 至平成 27年 3月 31日	(2 年)
半田充	自平成 25年 4月 1日	～ 至平成 31年 3月 31日	(1期2年)
下山晃司	自平成 27年 4月 1日	～ 至現在	
福與直己	自平成 31年 4月 1日	～ 至現在	

収入役

多々良武夫	自昭和 26年 7月 1日	～ 至昭和 35年 2月 21日	(2期8か月)
向坂正夫	自昭和 36年 4月 5日	～ 至昭和 40年 4月 4日	(1 期)
北山宏明	自昭和 40年 6月 16日	～ 至昭和 52年 3月 31日	(2期3年9か月)
松永光雄	自昭和 52年 5月 1日	～ 至平成 3年 8月 27日	(3期2年4か月)
金子眞一郎	自平成 3年 12月 3日	～ 至平成 7年 10月 14日	(3年10か月)
松永六郎	自平成 7年 10月 15日	～ 至平成 15年 3月 31日	(1期3年6か月)
大澤雅晴	自平成 15年 4月 1日	～ 至平成 19年 3月 31日	(1 期)

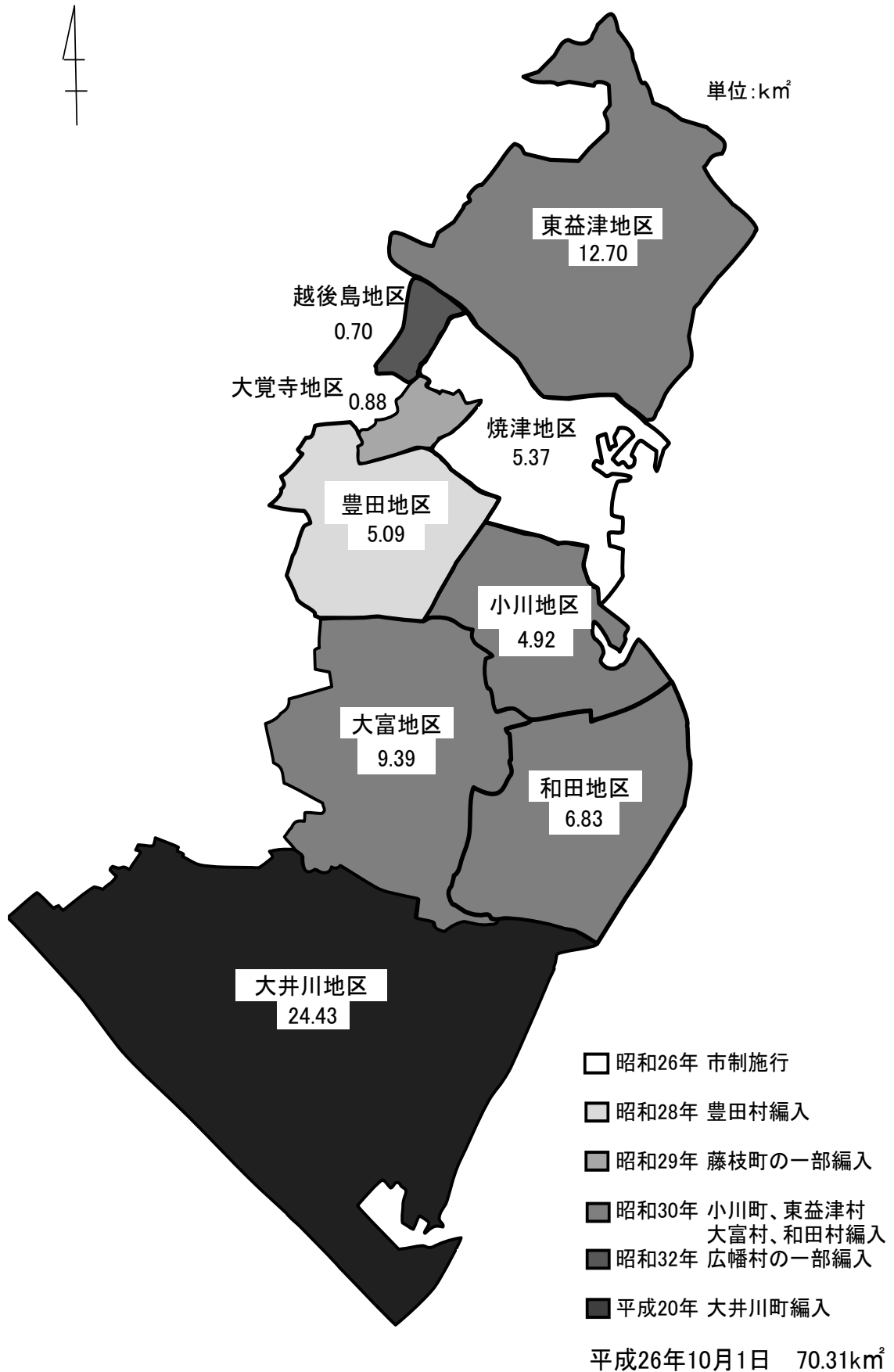
※平成19年4月1日から助役が副市長に変更

※平成19年4月1日から収入役が廃止

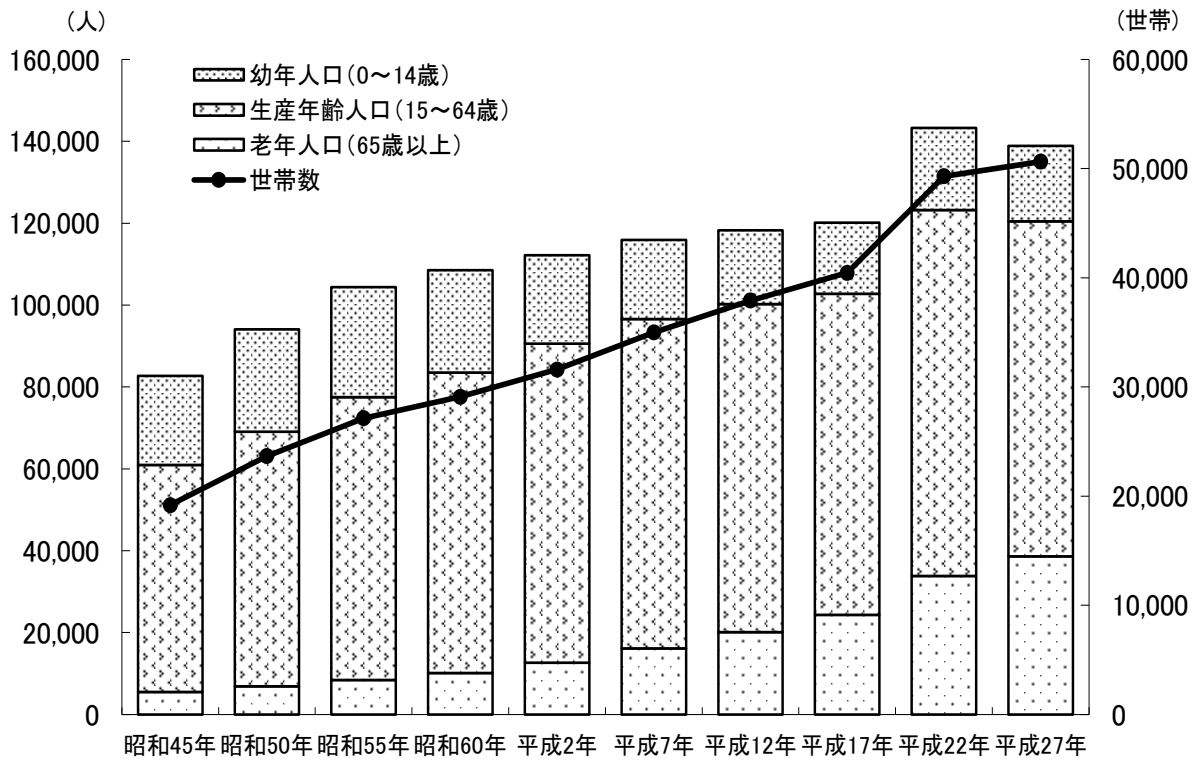
※平成25年4月1日から副市長を2人選任

資料 焼津市史下巻
※令和2年1月1日現在

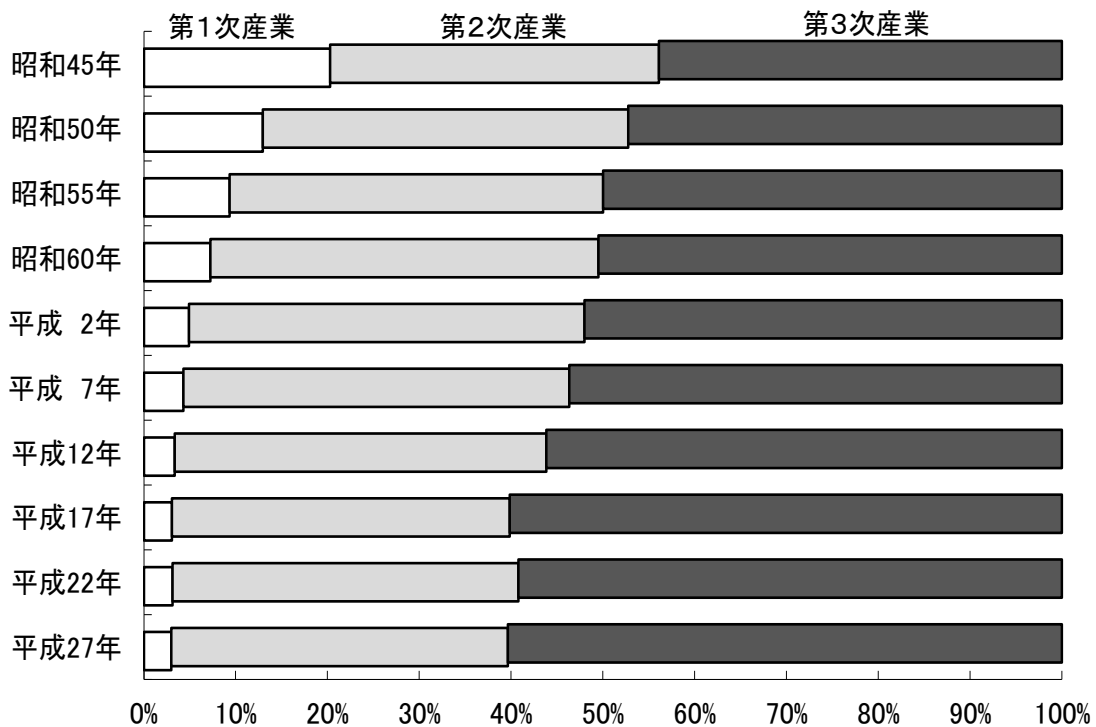
市域の変遷



人口と世帯の推移 (国勢調査結果より)



産業別就業割合の推移 (国勢調査結果より)



焼津市一般会計決算額の推移

